

セイウオオマルハナバチ【新規申請】に必要なもの

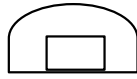
(様式第1-A)

飼養等許可申請書

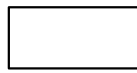
申請書
様式1-A

①施設
(ハウス)の
図面

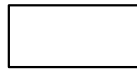
施設(ハウス)の図面



正面



側面



平面図

敷地内における施設の
位置図

申請
ハウス1

申請
ハウス2

倉庫

②敷地内
における
施設の
位置図

1:5000以上の概況図

③縮尺
1:5000以上
の概況図

縮尺 1:5000

施設(ハウス)の写真

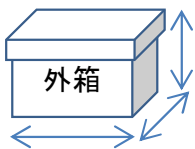
写真

写真

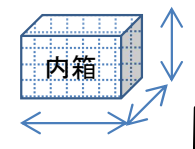
写真

④施設
(ハウス)
の写真

施設(巣箱)の図面と写真



.....製



.....製
網目は..

施設(巣箱)
の
図面と写真

⑤飼養等をす
る目的を説明
する資料

申請理由書

〇年〇月〇日
環境 太郎

就農証明書

〇年〇月〇日
JA〇〇

⑥

平成18年9月1日
より前から農業を
営んでいたことを
証明する書類

(様式第1-A)

飼養等許可申請書（新規／許可内容変更）

特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（平成16年法律第78号）第5条の規定により特定外来生物の飼養等の許可を受けたく、次のとおり申請します。

令和〇年〇月〇日

北海道地方環境事務所長 殿

申請者の住所：〒000-0000 北海道札幌市北区北8条西2丁目

氏名：ふりがな 環境 かんきやう 太郎 たろう

電話番号：011-000-0000

電子メールアドレス：t-kankyo@--. --. jp

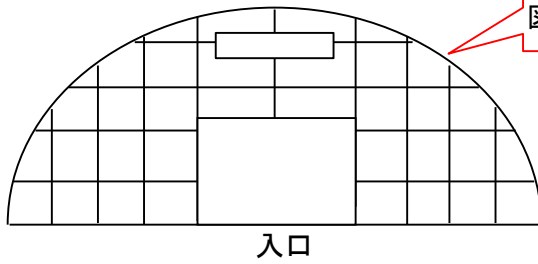
職業：農家

1.申請の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 許可内容変更（許可番号[] 許可の有効期間[年 月 日まで]		
2.申請に係る特定外来生物	1)種類	セイヨウオオマルハナバチ (<i>Bombus terrestris</i>)	
	2)飼養等をしようとする数量(単位)	〇群	
3.飼養等の目的	<input type="checkbox"/> 学術研究 / <input type="checkbox"/> 展示 / <input type="checkbox"/> 教育 / <input checked="" type="checkbox"/> 生業の維持 <input type="checkbox"/> 特定外来生物の指定の際現に国内で飼養等をしている個体の愛玩又は観賞 <input type="checkbox"/> その他（具体的に：)		
4.特定飼養等施設	1)所在地	ハウスのある住所を記入（ <input type="checkbox"/> 屋内、 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外）	
	2)種類・規模	ハウス〇棟、合計〇〇〇〇㎡、巣箱〇箱（詳細は図面のとおり）	
	3)構造	ハウス：鉄骨パイプハウス、単棟、灌水チューブを使用、孔径〇mm 巣箱：一体成形プラスチック外装ダンボール	
5.主たる飼養等取扱者	1)飼養等取扱者	<input checked="" type="checkbox"/> 申請者（個人の場合は家族を、法人の場合はその職員を含む。） <input type="checkbox"/> 申請者以外（申請者以外の場合は2)～4)を記入）	
	2)氏名（法人の場合は名称及び代表者の指名）	4)職業	
	3)住所（法人の場合は主たる事業所の所在地）		
6.飼養等管理体制	1)施設の点検方法、点検頻度	「毎日の作業前に施設に破損がないかを点検」などと記載	
	2)飼養等が困難になった場合の措置	「ビニール袋に巣箱ごと密閉し殺処分するか、購入した販売業者が回収する」などと記載	
	3)特定外来生物の運搬の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り（運搬目的 許可を受けた巣箱を使用する） <input type="checkbox"/> 無し （有りの場合は移動用施設の図及び写真も添付する）	
7.現在の飼養等の状況	飼養等をしている数量(単位)	△群	
8.添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> 該当箇所 <input type="checkbox"/> ①施設の図面 <input type="checkbox"/> ②敷地内における施設の位置図 <input type="checkbox"/> ③施設の設置場所周辺の縮尺1:5,000以上の概況図 <input type="checkbox"/> ④施設の写真 <input type="checkbox"/> ⑤飼養等をする目的を説明する資料 <input type="checkbox"/> ⑥その他（)		
9.施行規則第6条第3号から第5号に該当しないことの証明	<input checked="" type="checkbox"/> 私（法人の場合：当法人及び法人の役員）は、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律施行規則第6条第3号から第5号までに該当しない者です。		
10.備考			
担当者連絡先 （申請者以外に本申請に係る担当者がある場合に記入）	氏名	所属・役職	
	住所	JA 担当者を記入	
	電話番号	電子メールアドレス	

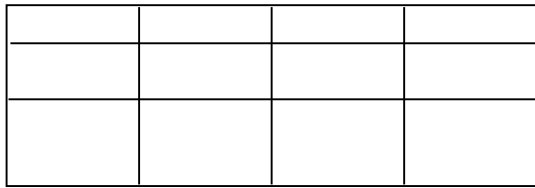
①施設(ハウス)の図面

作成例

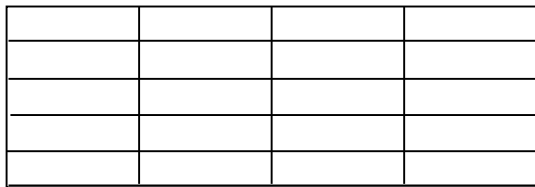
窓や換気扇がある場合には
図のように記載してください。



立面図
(正面)



立面図
(側面)



平面図

ハウスのタイプが複数ある場合には、それぞれのハウスの図面が必要です。またその場合、それぞれのタイプに番号もしくは記号を割り振って下さい。
(例:タイプA、タイプB、…)

鉄骨パイプハウス

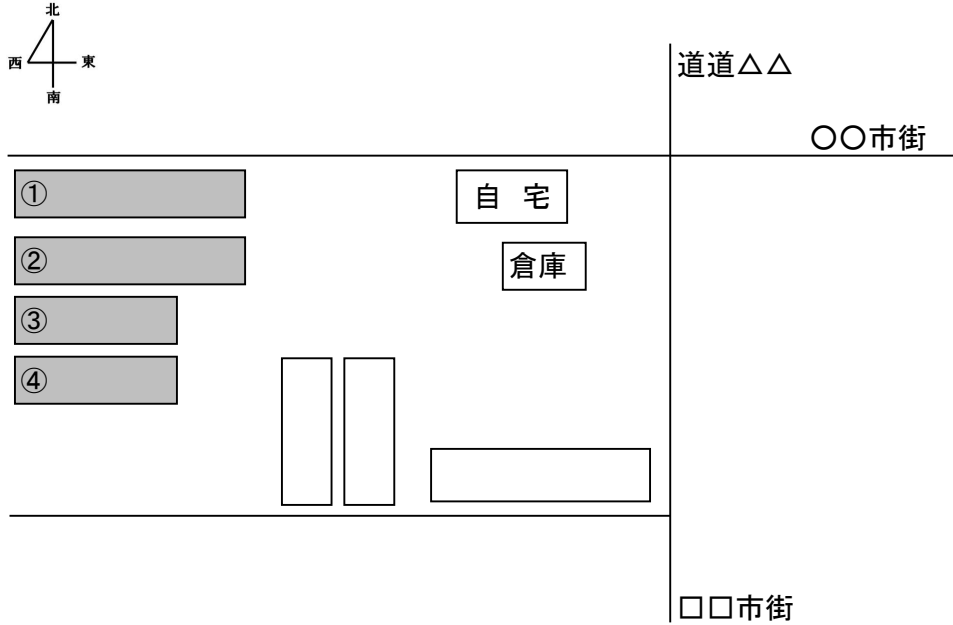
灌水チューブを使う場合は、記載ください。孔径とは水の染み出てくる穴の直径を指します。灌水チューブを通じてハチが逃げ出さないことを確認します。

※灌水には、灌水チューブを使用(孔径〇mm)

②敷地内における施設の位置図

作成例

- ・飼養等施設所在地: 北海道〇〇市〇〇……
- ・申請者氏名: △△ △△



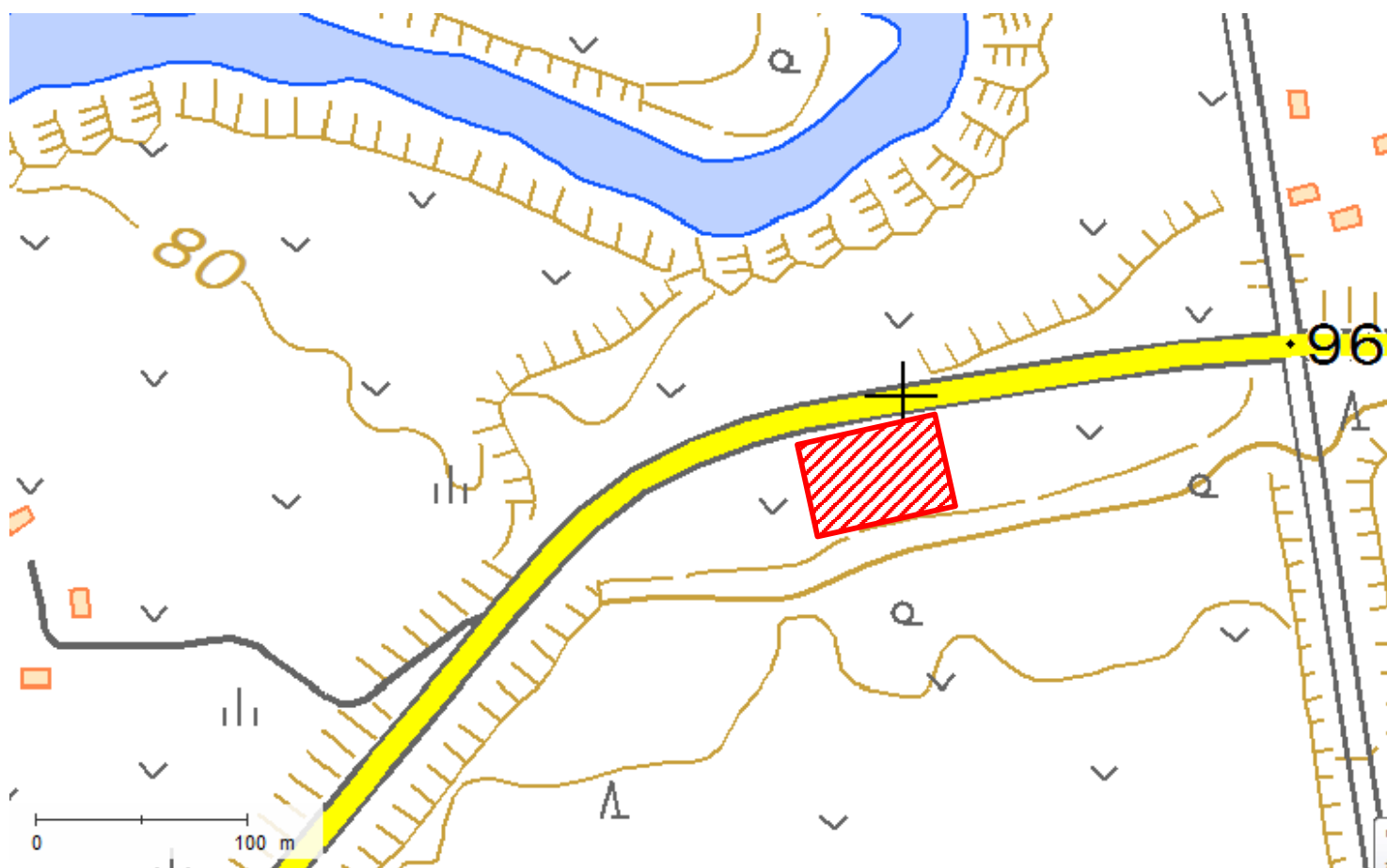
ハウスのサイズを記載して下さい。

今回申請ハウス概要

- ・間口〇〇m × 長さ〇〇m × 高さ〇〇m No.①、②
- ・間口〇〇m × 長さ〇〇m × 高さ〇〇m No.③、合計〇〇㎡

③ 縮尺1:5000以上の概況図

作成例



1:5000

1:5000以下であることが確認できるように、「縮尺」または「スケール」を記載してください。

※ベースの地図としては、「住宅地図」や「地理院地図(電子国土Web)」が便利です。

④施設の写真（ハウス）

許可をとるすべてのハウスについて、以下の写真が必要です。

作成例



○ハウス全景

各写真に補足説明を入れてください。



○ハウスの入口

- ・目合い4mm×4mmの目ズレ防止ネットを使用
- ・ネット下部はおもり付きで風でめくれない
- ・ネットを重ね合わせて、人の出入り時にハチが逃げ出さない構造

ネットの状態や2重構造であることがわかるように撮影してください。（2重の入口のうち片方を開けた状態で撮影すると良いです。）入口の上下左右がすべて収まるよう撮影してください。

※ネットの開閉がファスナーの場合、人の出入り時に、ネットと扉の両方を開放した状態になってしまいます。ネットはファスナーではなく重ね合わせ構造とするか、ファスナーの場合でも、さらにもう1枚ネットを張る、または扉かネットのどちらかを閉じた状態で人が出入りできる構造としてください。

ネットが風でヒラヒラしないよう止めてあることが写真で確認できるようにしてください。

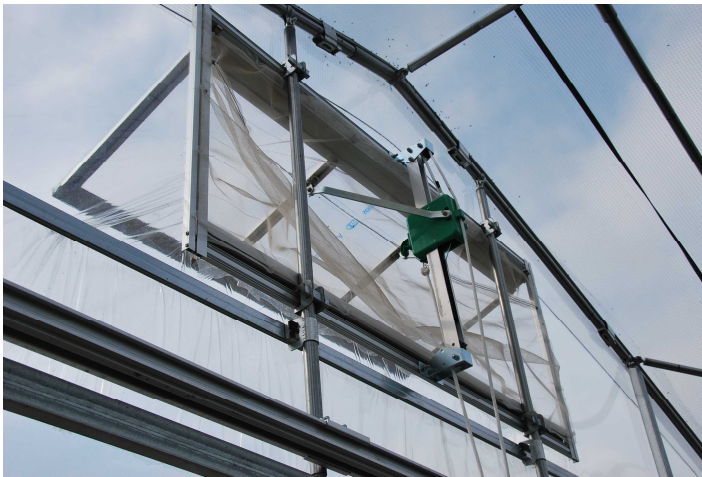


○ハウス側面の窓

- ・目合い4mm×4mmの目ズレ防止ネット使用
- ・上部・下部ともに隙間ができないように展張

※側面のネットは、上部・下部ともに隙間ができないように展張する必要があります。

ネットは外側から張り、ビニールと一緒にビニペットやパッカーで留めると、隙間ができづらいです。



○妻面窓

逸出防止用ネットを隙間なく展張

天井や妻面に窓がある場合には、窓にネットを展張した写真も必要です。



○暖房設備

排気筒とハウスの間は隙間なくビニールを展張。

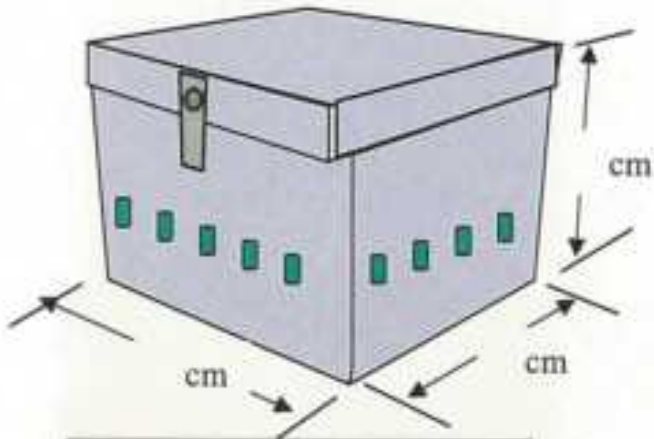
暖房設備があるハウスの場合には、隙間が生じていないことを確認するため、写真が必要です。

この他、灌水チューブ以外の給排水設備を設けている場合には、給排水設備からハチが逸出不可能であることを示す写真が必要です。灌水チューブを使用している場合には写真は必要ありません。

飼養等施設の図面及び写真(巣箱)

例

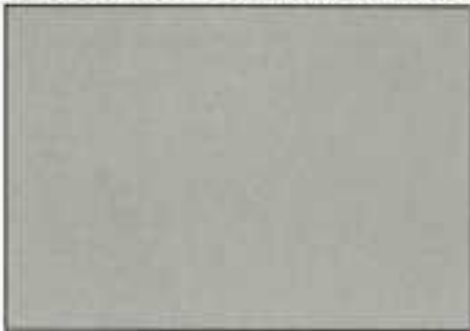
外観: 出入口は上下(左右)スライド式



- ・内側はプラスチック一体成型で、出入口をスライドさせることによりハチの出入は不可能となる。
- ・外側はダンボール。出荷時はハチのサイズより大きな開口部はない。



内部(プラスチック部分)の写真



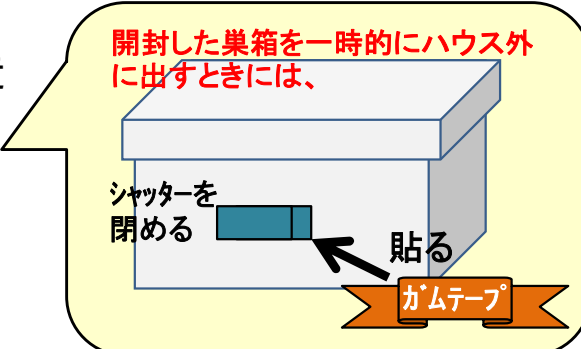
外観写真

運搬の方法
スライド式の出入口を開けて運搬する。さらに、①段ボール箱の開口部にテープを貼るか、②巣箱全体を目合4mm以下の網袋に入れる、又は③輸送用の段ボール箱に入れるのいずれかの方法で二重の状態を確保して運搬する。

二重の状態を確保して運搬することを明記

※図面は、セイヨウマルハナバチを販売しているメーカー等から入手可能な場合もあります。

※巣箱は、一度開封するとハチの出入口部分が2重構造ではなくなります。ハウス内での農薬使用時やハウス間の移動などで開封した巣箱をハウスから出すときは、出入口部のシャッターを閉め、さらにガムテープ等で塞ぎ、2重構造にした上で、ハウスから出してください。



⑤飼養等をする目的を説明する資料 (申請理由書)

この文章によく間違いが見られます。正確に記述ください。

私は、セイヨウオオマルハナバチが特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律に指定される平成18年9月1日より前から農業を営んでおります。

理由は具体的に記述ください。
例) 高品質な農産物の生産、
作業の軽減、販売戦略

このたび、.....
.....のため、セイヨウオオマルハナバチの飼養等をしたく、許可申請をいたします。

令和〇年〇月〇日
環境 太郎 (印)

⑥平成18年9月1日より前から農業を営んでいたことを証明する書類

申請者がJAに加入されている場合には、JAが作成する証明書を添付してください。特段決まった様式はありませんが、JAの代表者名と押印をお願いします。

申請者がJAに加入されていない場合には、必要な書類について、申請窓口へお問い合わせください。

■ 問合せ先・申請書提出先 ■

(R5.10作成)

環境省 北海道地方環境事務所 野生生物課
〒060-0808 札幌市北区北8条西2丁目札幌第一合同庁舎3階

TEL 011-299-1954

※北海道以外にお住まいの方は、お近くの地方環境事務所にお問い合わせください。必要書類等が異なることがあります。